

## 第1回高知県行政改革検討委員会（概要）

日 時：平成21年7月3日（金）15:00～17:00

場 所：県庁第二応接室

出席者：高知県行政改革検討委員会

衛藤委員、岡林委員、坂本委員、高村委員、遠山委員、西森委員、根小田委員（会長）、  
水田委員

高知県

尾崎知事、恩田総務部長、久保総務部副部長、田村総務部副部長、  
岡崎産業振興推進部副部長、井奥政策企画課長、門田行政管理課長、山本人事課長、  
松谷財政課長、西岡執行管理室長

---

### 1. 委員への委嘱状交付（知事）

### 2. 委員及び県出席者の自己紹介

### 3. 検討委員会設置要綱の説明（事務局：行政管理課）

### 4. 知事あいさつ

### 5. 新行政改革プラン策定の目的及び主要論点について（総務部長）

## 6. 議 事

### （1）会長の互選

- ・根小田委員を会長に選任。会長の職務代理者については後日指名。
- ・会議を原則公開で行うことを決定。

### （2）県行政の現状について

#### ○産業振興計画についての説明（産業振興推進部）

- ・パンフレット「高知県産業振興計画（PR版）」に基づき、産業振興計画の概要を説明。

#### ○県政改革アクションプランについての説明（行政管理課）

- ・資料4に基づき、県政改革アクションプランの概要、具体的な取組について説明。

#### ○財政状況についての説明（財政課）

- ・パンフレット「平成21年度高知県の財政」及び資料「高知県の財政の状況／一般会計決

算等の推移」に基づき、平成 21 年度の当初予算、県財政の状況について説明。

### (3) これまでの行政改革の取組について（行政管理課）

○資料 5 に基づき、平成 17 年度以降の行政改革の取組（アウトソーシング、職員数の適正化、人事・給与制度の見直し、組織機構のスリム化など）について説明。

#### <主な質疑>

(問) 行財政改革を議論する際には道州制のことが議題となると思うが、現在の考えは。政治の動向は考慮に入れるのか。

(答) 行財政改革の方向性というものは、政治の動向に左右されることなく一定の方向性を定めることが肝要である。道州制については、何を目的とした道州制なのかということを考えることが非常に重要。行革のみを念頭に道州制を進めるなら、それが本県にとっていいことなのか。本県にふさわしい道州制のあり方を考える必要がある。

(問) 現行の行革プランを実行していく中において、職員の質の向上は図られたのか。また、アウトソーシングについて、発注者側の官（県）、受注者側の民、そのサービスを受ける県民、それぞれの立場から評価、検証したことを総括する必要があるのではないか。

(答) 職員の質の向上については、各種研修などにより取り組んできたところであるが、今後は内容をどのように高度化していくかが課題。研修内容については完全に民間委託しているのでその成果なども報告したい。

アウトソーシングについては、発注者としての県側の議論がメインとなっているが、議会などからは受注者側の声に耳を傾けるべきとの意見もある。今後、さまざまな意見を聞きたい。

(問) 本県の職員数については、総務省が定める定員管理指標の試算値と比較すると多いのか。

(答) 総務省の試算値には、一般行政だけでなく、教員や警察職員も入った形となっており、現在の試算値では多いという結果になっている。中山間地域の多い本県の実態にそのまま合っているのかという点はあるが、本県の教員などは人口当たりになるとかなり手厚く配置されているはず。

(問) 行革プランにおける職員数については、当然本県の実情が加味されるべきだと思うが。

(答) そういう視点は重要。都市部と本県では人口密度が違う。

### (4) 検討委員会の進め方について（行政管理課）

○資料 6 に基づき、説明。追加すべき検討項目、論点等があれば、随時、委員から意見をもらいながら進めていくことを決定。

**(5) 県民世論調査の調査項目について（行政管理課）**

- 資料7に基づき、説明。県民世論調査の調査項目として行財政改革に関する質問を予定していることを報告。

**7. その他**

- 第2回の委員会を8月中下旬に行うことを決定。